

## 【提出意見】

寺田 麻佑（一橋大学）

### ■ 議題（2）について

・北川先生のご発表、大変重要なお指摘を多々含むものではあるとは思いましたが、グローバルな世界の中で否応なく、グローバルに日本も翻弄されることが想定される世の中だからこそ、日本の歴史や社会の成り立ちを含めた、ふわふわとした感覚的なものではない、これまでの研究等で確立されてきた内容を含めた確固とした学びが必要で、それらに対する懐疑的な視点も含めた視点を養うためにも、アイデンティティというものは、しっかりと地域と国の基盤を見据える形で形成できるようにする必要があると思いました。グローバル化は普通に起こっていますので、その場合、将来同じ社会で生きていくためにも、様々な国からくる生徒がクラスにいる場合でも、日本のことをしっかりと学んでもらうことが必要かと思います。また、宇宙を学ぶ視点は、そもそも、地学をどのくらい教科として各学校で提供できているのかという点、ほとんどできていない段階で、現時点ではキャパシティとしては先生方に追加して教えていただくのは難しいのではないのでしょうか。その他社会以外の科目で（理科など）つなげるのが良いと思います。

・現代社会の学びの形成をするためには教えられる教科内容の検証や確認、内省などを行う時間が重要であり、無理にグローバルを意識しなくとも、自分の周りのことをしっかりとその時に得られる材料に基づいて判断することができる、そして自らの周辺地域のこと、社会のことを理解するなかで自然と結び付けていくことが大事であり、スケール感を理解するために教科ごとの連携がされていくのは良いことではあると思いました。

なお、地域連携も非常に大事だとは思いますが、そういった地域調査などは、基本的には調査法の専門的な訓練を教師も受ける必要があります、無理やり地域に協力をお願いすることは、できる地域とできない地域があると思いますし、教科時間も増えないなかでは、先生方への負担やストレスを増すものとなりかねないので、そのための時間や、専門家が関わるための予算を確保すべきだと思います。